

令和5年度（2023年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	理科	科目	生物	学年	第 2 学年	類型	Ⅱ 型理系
単位数	2 単位	教科書	改訂版 生物（数研出版）				
補助教材	リードLightノート生物（数研出版）、セミナー生物基礎＋生物（第一学習社）、生物問題集・実験ノート（愛媛県高教研理科部会）、ニューステージ生物図表（浜島書店）						

学習目標	生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識を持って観察、実験等を行い、生物学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。
------	---

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月			
	5月			中間考査
	6月			
	7月			期末考査
2 学期	8月			
	9月			中間考査
	10月	1編 生物の進化	生命の起源および生物の変遷について、地球環境の変化と密接に関係していることを確認しながら学習する。	
	11月		多様な生物の種類は形態的な特徴や分子データに基づいた系統によって分類されることを学ぶ。	期末考査
	12月	2編 生命現象と物質	細胞の構造を理解し、タンパク質の構造や生体内でのタンパク質の働きについて学習する。	
3 学期	1月		呼吸・光合成について詳細なしくみを学習する。その際のエネルギーの変換や、窒素同化の概要についても学ぶ。	
	2月	3編 遺伝情報の発言と発生	DNAの構造・複製・タンパク質合成について、詳細なしくみを学ぶ。転写レベルの調節による遺伝子の発現調節の概要や	学年末考査
	3月	1章 遺伝情報とその発言	遺伝子を扱ったバイオテクノロジーについて学習する。	

学習の方法	日々の授業において基本的な概念や法則を理解していくことが大切です。図を利用しながら生物や生物現象を理解し、基本的な知識については何度も復習しながら身に付けることが必要です。生物に興味を持ち、日常生活や環境との関連を考えながら学習に取り組んでみましょう。
-------	--

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行う。 平常点は、提出物（課題、ノート、学習プリント等）・小テスト・実験レポート・授業に取り組む姿勢を考慮して評価する。		